

# 北海道駒ヶ岳

## 1 平成 17 年の活動概況

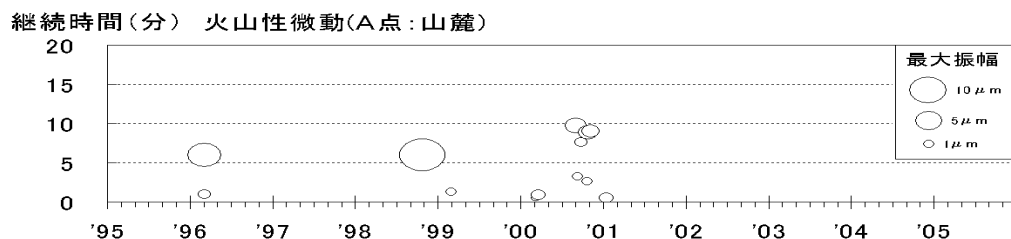
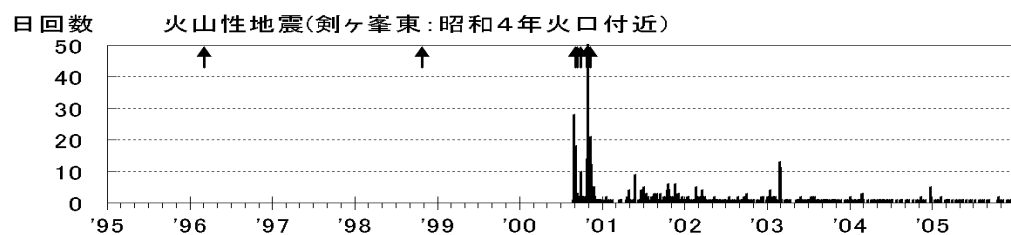
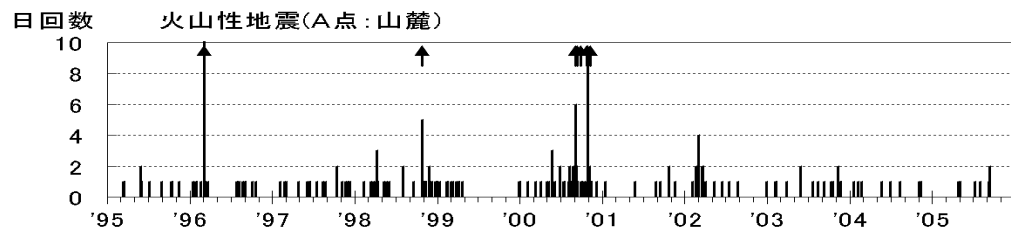
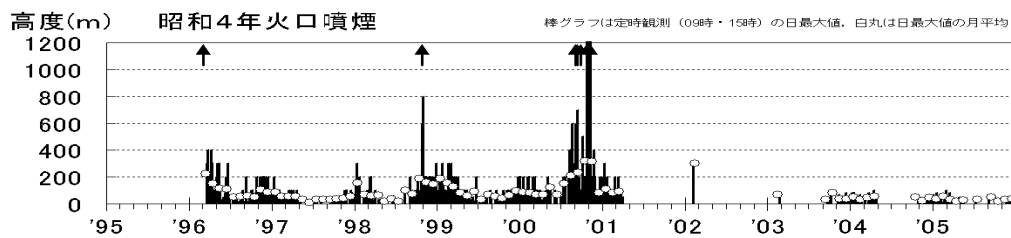
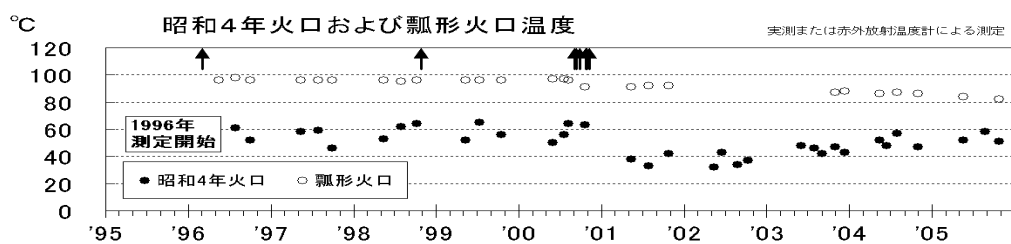
火山活動は静穏に経過しました。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されました。

平成 17 年の主な火山活動

時期	火山活動	火山情報発表状況
	特記事項なし	発表なし

## 2 噴煙活動の状況

2003 年 9 月以降観測されるようになった昭和 4 年火口の弱い噴気は、引き続き観測されました。



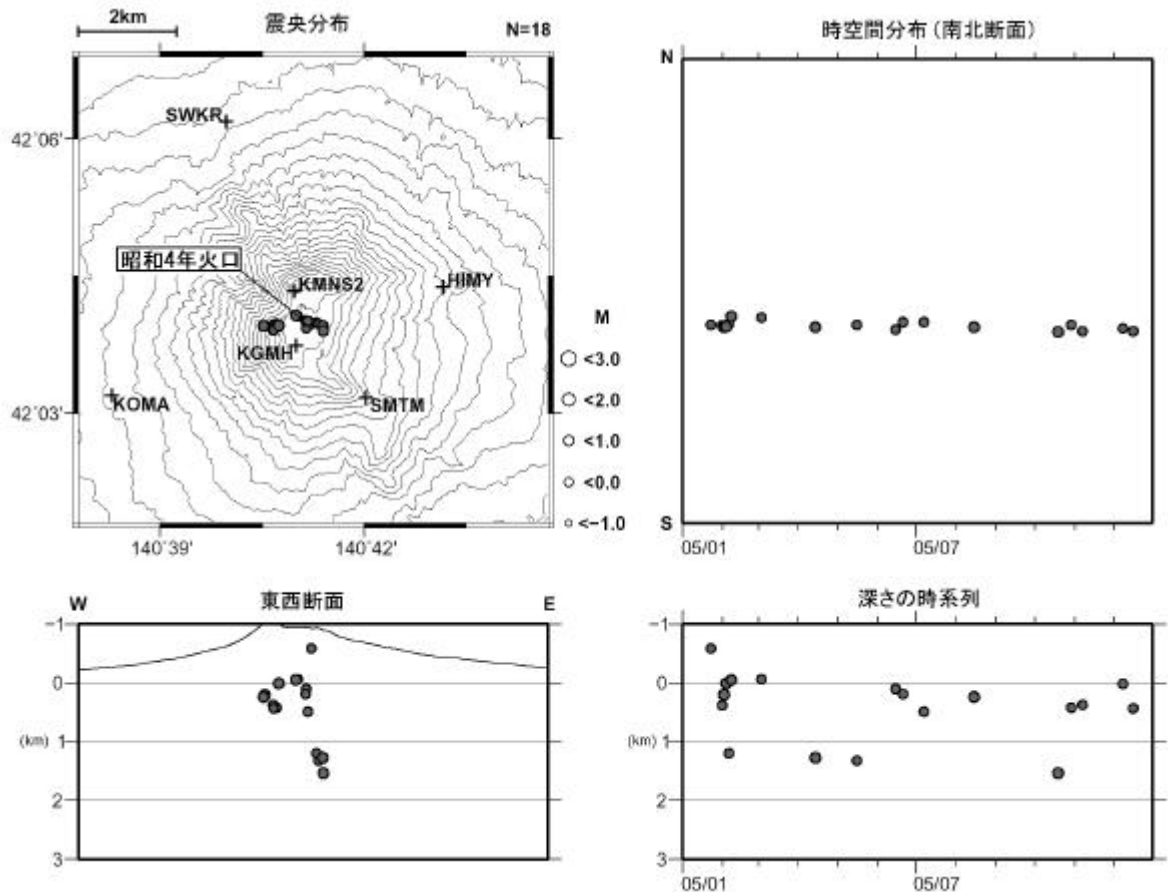
最近の火山活動経過図（1995年1月1日～2005年12月31日） は噴火

### 3 地震活動の状況

地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数（A点：山麓の観測点 剣ヶ峯東：山頂付近の観測点）

2005 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
A点地震回数	0	0	0	1	1	0	2	0	3	0	0	0
剣ヶ峯東地震回数	4	8	6	2	4	3	3	3	1	4	3	2
A点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源 + 印：地震観測点）

印は 2005 年 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間に求まった震源を示しています。

震源は大きく分けて山頂火口直下の海拔付近と海拔下 1～2km に集中しています。

#### 震源分布図の説明

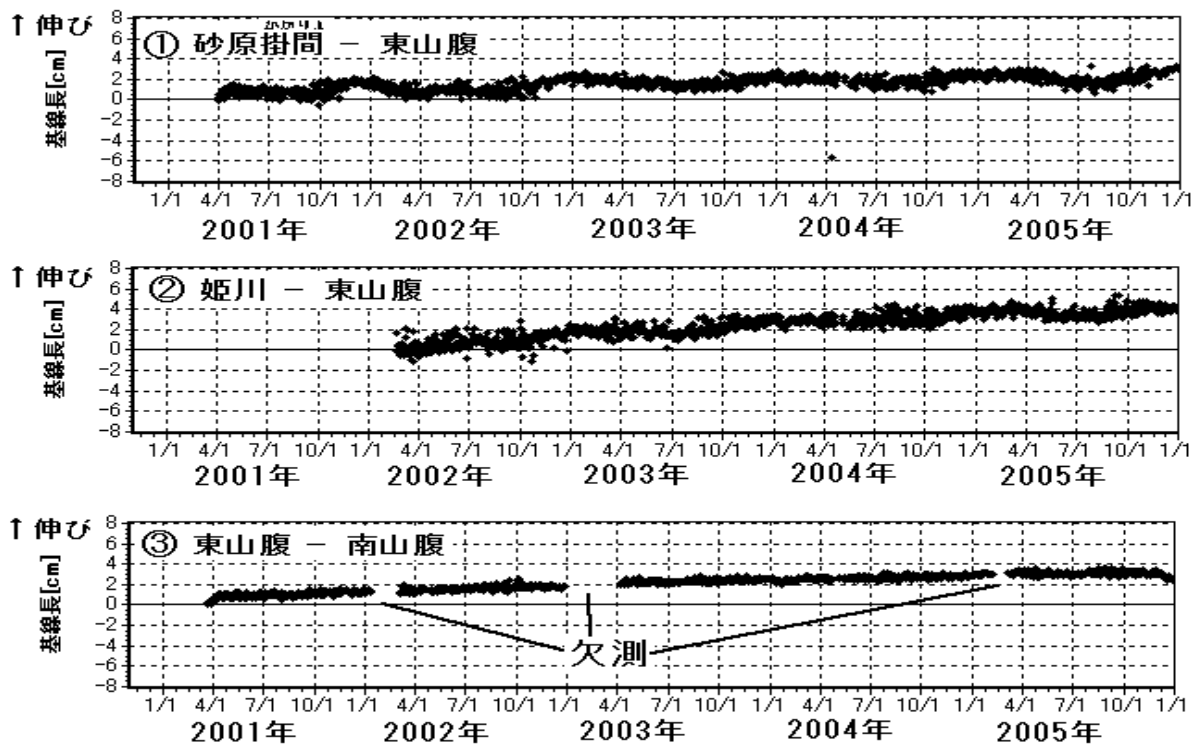
東西断面 震央分布で表示された範囲を東西面に投影して、地震の垂直分布を示した図です。

時空間分布 震央分布で表示された範囲を時間経過とともに南北面に投影することで、震央の位置がどのように推移しているかを示した図です。

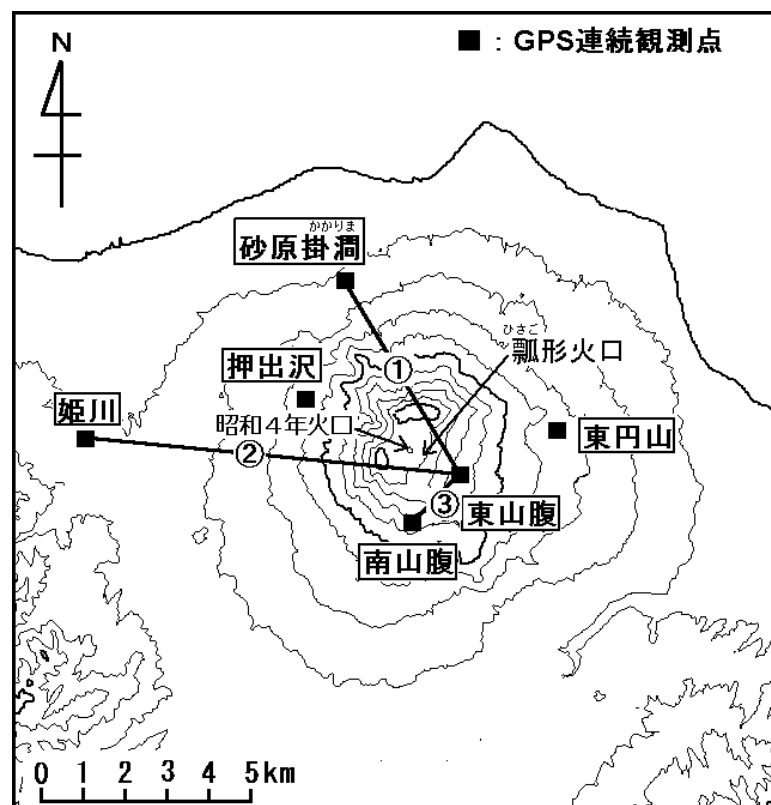
深さの時系列 時間経過とともに震源の深さがどのように推移しているかを示した図です。

4 地殻変動の状況

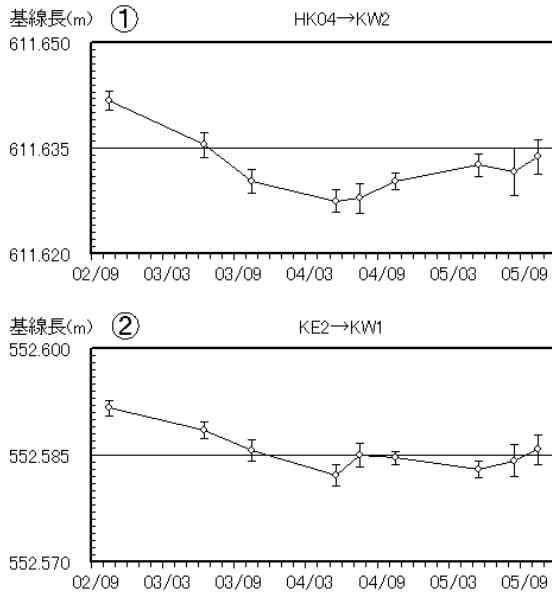
GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められました。



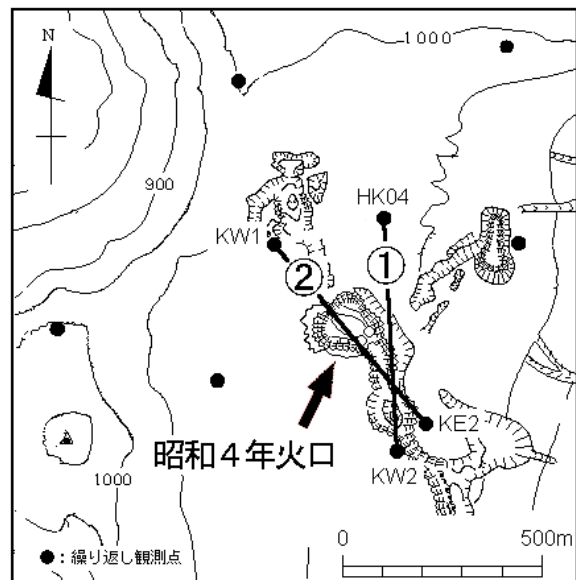
基線長変化（2001年3月23日～2005年12月31日）



GPS 繰り返し観測では、昭和 4 年火口を囲む基線で 2004 年以降認められているわずかな膨張傾向が引き続き認められました。



昭和 4 年火口周辺の基線長変化



山頂 GPS 繰り返し観測点位置図

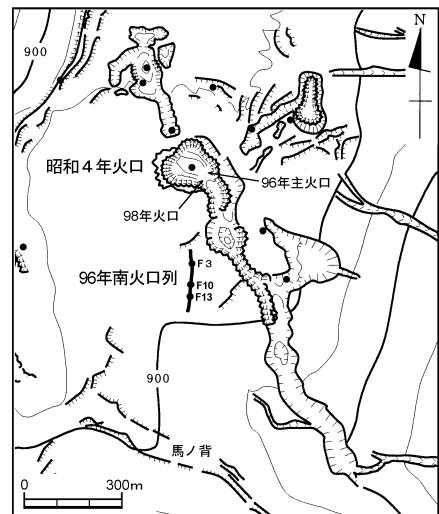
### 5 調査観測の結果

5月、8月および10月に実施した調査観測では、2002年以降続いている昭和4年火口温度の緩やかな上昇傾向が引き続き観測されました。

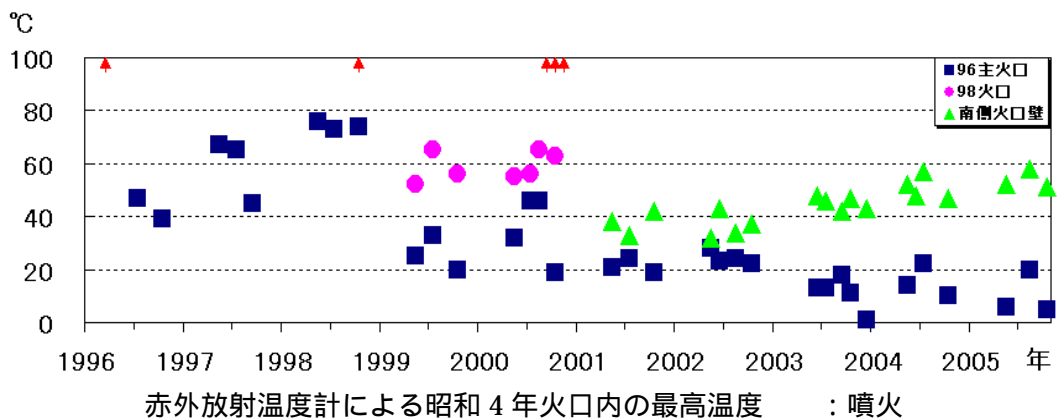
96年南火口列や、その他の火口では特段の変化はありませんでした。

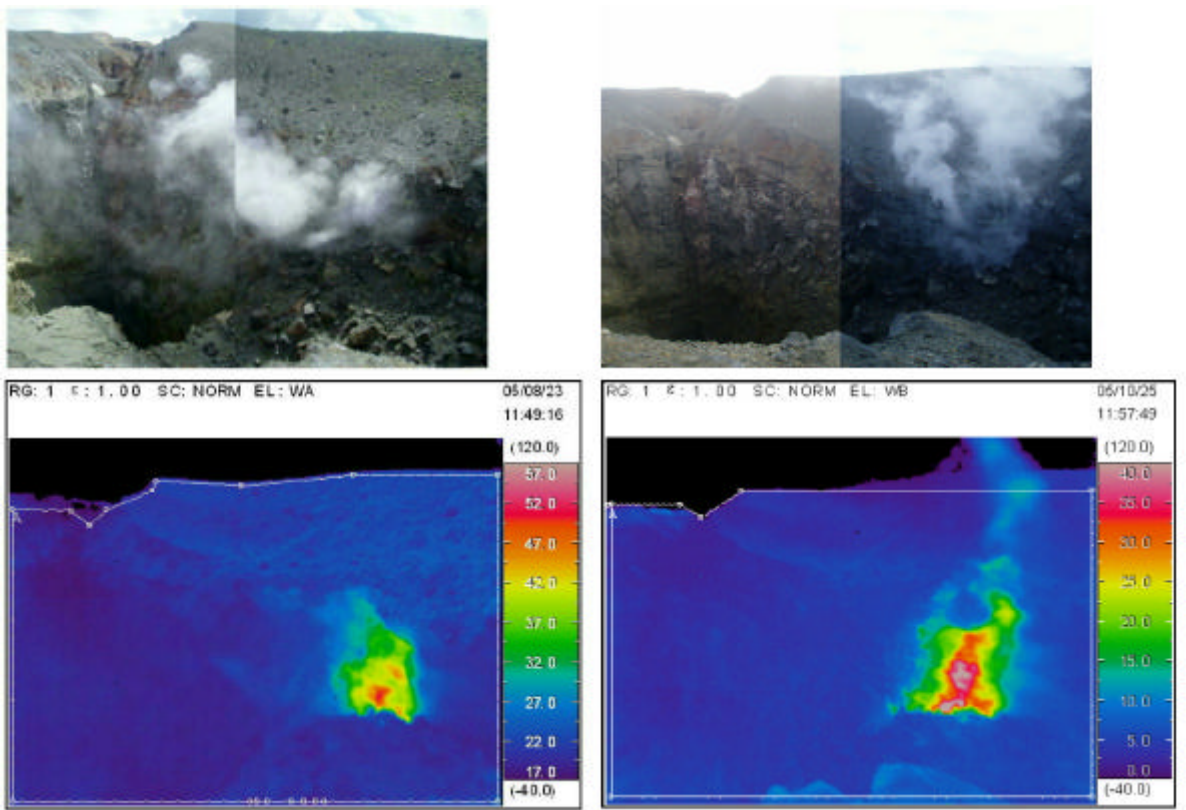
赤外熱映像装置\*による観測では、昭和4年火口や明治火口などの表面温度分布に変化は認められませんでした。

全磁力観測では、火山活動の活発化を示す変動は観測されませんでした。



北海道駒ヶ岳山頂火口周辺図





赤外熱映像装置による昭和 4 年火口内の表面温度分布  
 （左図：2005 年 8 月 23 日 右図：2005 年 10 月 25 日）

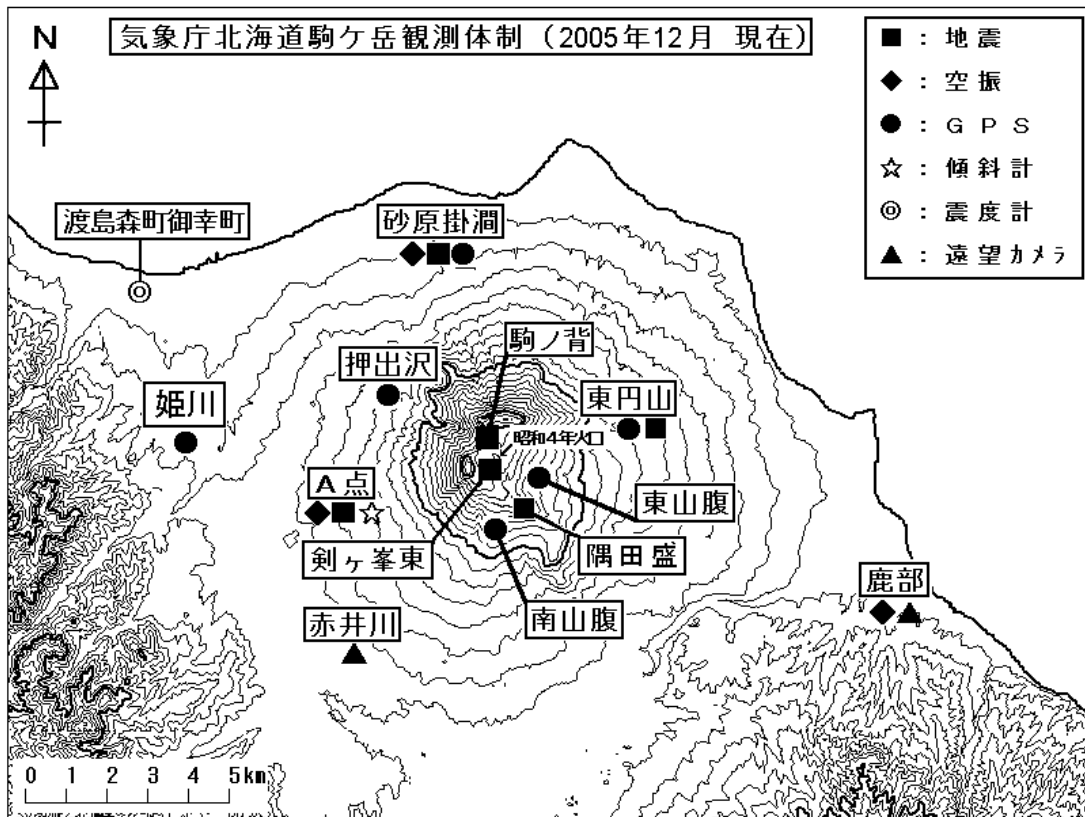
\* 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。

## 6 上空からの観測結果

北海道開発局の協力により 3 月 23 日、6 月 1 日、9 月 28 日、10 月 12 日および 11 月 2 日に上空からの観測を実施しました。

昭和 4 年火口からは 2000 年噴火のあった南側内壁部分から弱い白色の噴気が立ち上り、明治火口からもごく弱い白色の噴気が認められました。噴気活動に特に変化はありませんでした。

観測点情報



観測点一覧表 北海道駒ヶ岳 (位置は世界測地系)

記号	観測機器	地点名	位置			設置高(m)	観測開始年月
			緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
	地震計	A点	42 03.2	140 38.3	265	0	1966年7月
		剣ヶ峯東	42 03.7	140 41.0	920	-1	2001年4月
		駒ノ背2	42 04.3	140 41.0	1035	0	2001年9月
		砂原掛澗	42 06.2	140 40.0	130	-1	2001年3月
		隅田盛	42 03.2	140 42.0	677	-1	2002年11月
		東円山	42 04.4	140 43.2	458	-1	2002年11月
	空振計	A点	42 03.2	140 38.3	265	2	2000年12月
		鹿部	42 01.9	140 48.8	45	2	2000年11月
		砂原掛澗	42 06.2	140 40.0	130	2	2001年3月
	遠望カメラ	鹿部	42 01.9	140 48.8	45	11	2001年2月
		赤井川	42 01.1	140 38.5	177	1	2001年1月
	GPS	押出沢	42 04.6	140 39.2	345	3	2003年11月
		東山腹	42 03.6	140 41.9	678	3	2000年12月
		東円山	42 04.4	140 43.1	456	3	2004年11月
		南山腹	42 03.0	140 41.2	647	3	2001年3月
		砂原掛澗	42 06.2	140 40.0	130	3	2001年3月
		姫川	42 04.1	140 35.3	125	3	2002年2月
	傾斜計	A点	42 03.2	140 38.3	265	-12	2000年12月
	震度計	渡島森町御幸町	42 06.4	140 34.6	15	-	2004年3月